

内閣府 知的財産戦略推進事務局

令和2年度

CJ戦略における新型コロナウイルス感染症の 影響調査分析

最終報告書 別紙③ 日本の印象調査

2021年3月

目次

1. 本調査の概要

- ① 本調査の背景と狙い

2. 新型コロナによる影響分析

- ① 分野別影響内容
 - 1. アメリカ
 - 2. イギリス
 - 3. フランス
 - 4. ドイツ
 - 5. 韓国
 - 6. 中国
 - 7. タイ

3. 諸外国からの日本の印象分析

- ① 新型コロナ蔓延を通しての日本の印象調査
- ② 有識者インタビュー調査

目次

1. 本調査の概要

- ① 本調査の背景と狙い

2. 新型コロナによる影響分析

- ① 分野別影響内容
 - 1. アメリカ
 - 2. イギリス
 - 3. フランス
 - 4. ドイツ
 - 5. 韓国
 - 6. 中国
 - 7. タイ

3. 諸外国からの日本の印象分析

- ① 新型コロナ蔓延を通しての日本の印象調査
- ② 有識者インタビュー調査

3. 諸外国からの日本の印象分析

①日本の印象調査 サマリ(1/2)

調査① 影響調査

調査② 印象調査

2021年3月までの情報に基づくため、
今後の感染状況により評価は
大きく変動する可能性あり

新型コロナ拡大後に行われた、各国のコロナ対応の有効性や影響等を比較・評価したレポートによれば、日本は感染者数や死亡者数の少なさに一定の評価を受けており、感染が抑えられた要因としては、国全体の高いレベルの社会的結束やコンプライアンス意識が挙げられている。

日本への評価内容

日本のコロナ対応に関する評価

概要

- 日本は**感染や死亡する可能性が低く、回復する可能性が高い国**として日本は**世界5位(200か国中)**にランクイン('20年6月「COVID-19 Regional Safety Assessment」:1位スイス、2位ドイツ、3位イスラエル、4位シンガポール)
- 欧米諸国と比較し、人口に対する**感染者数や死亡者数の少なさ**に一定の評価を受ける
- ただし、検査数が各国平均を大幅に下回っていることや、**巨大な高齢者人口を抱える日本で感染の再拡大が起きた場合のリスク**については指摘がなされる

評価の要因

- ✓台湾やニュージーランドが、政府の対応により感染の封じ込めに成功したと評価される一方、日本は**ロックダウンを強制する法的手段はないが、マスク着用・人ごみの回避・自主的な外出自粛**といった文化的要素を含む総合的な要因により感染が抑えられたと言及される
- ✓また**高いレベルのコンプライアンス意識**が国全体としてより結束した対応につながり、優れたコロナ対応ができたとも評されている

3. 諸外国からの日本の印象分析

①日本の印象調査 サマリ(2/2)

調査① 影響調査

調査② 印象調査

2021年3月までの情報に基づくため、
今後の感染状況により評価は
大きく変動する可能性あり

新型コロナ感染拡大後に行われた、アフターコロナの観光旅行に関する意向調査において、日本はコロナ前に引き続き、訪れたい国としての人気は高い。
また、新型コロナ終息後の渡航先を決める上で、「非接触型決済の普及」、「清潔度／衛生安全レベルであること」などが重要と考えられている。

日本への評価内容

観光地としての日本の評価
アフターコロナにおける

概要

- 新型コロナ終息後に観光旅行したい国として日本は、**アジア居住者：1位、欧米豪居住者：2位**にランクイン('20年8月「DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査」)
- 日本を訪問したい理由として、特に欧米豪居住者からは衛生面や清潔さを評価する声が多い

参考…諸外国の旅行意向

- ✓海外旅行検討再開タイミングは「抗ウイルス薬の開発など新型コロナ脅威の消滅以降」、「渡航希望先の安全宣言後」、「WHOのパンデミック終息宣言後」等、**オフィシャルなコロナ終息宣言の発表後**という回答が中心
- ✓新型コロナ終息後における海外旅行の意向は全体的に高く、アジアを中心に「リラックスや癒やし」「体験」を求める回答が多い
- ✓コロナ収束後の渡航先を決める上で重視する点として、「**非接触型決済の普及**」、「**宿泊・飲食施設が一定以上の清潔度／衛生安全レベルであること**」「**最新施設のある病院へ安全かつ容易なアクセス**」が挙げられており安全面・衛生面での要素が重要となると考えられる

3. 諸外国からの日本の印象分析

①日本の印象調査 ～調査対象レポート①(1/3)

調査① 影響調査

調査② 印象調査

以下のような各種機関から発行されている調査レポートをもとに、新型コロナ蔓延を通してどのように日本が評価されているかを分析。

COVID-19 Regional Safety Assessment

調査概要

- '20年6月3日に香港の投資会社傘下の「Deep knowledge Group」によって発表されたランキング
- 新型コロナにおいて感染や死亡する可能性が低く回復する可能性が高い国を評価
 - ・実施方法：全200ヵ国を対象にWHO、Johns Hopkins大学、CDC等を含む、公的に入手可能な情報源等のデータに基づき、6つの評価項目別にスコア付け
 - ・対象地域：世界200の国・地域

日本への評価・言及

- 総合順位：5位(200ヵ国中)**
 - ・ **Government Efficiency：5位、Monitoring and Detection：4位、Healthcare Readiness：1位**
- 新型コロナ感染拡大による世界的な健康と経済危機に対する経済的、社会的、健康的安定性のスコアを付け、Tier1(20)、Tier2(20)、Tier3(60)、Tier(100)の4つの層に分類し、**日本はTier1に相当**
- 人口に対する感染者数や死亡者数が比較的少ない点が評価されている一方、検査数が各国平均を大幅に下回っていることや、巨大な高齢者人口を抱える日本で感染の再拡大が起きた場合のリスクについて指摘**

3. 諸外国からの日本の印象分析

①日本の印象調査 ～調査対象レポート①(2/3)

調査① 影響調査

調査② 印象調査

以下のような各種機関から発行されている調査レポートをもとに、新型コロナ蔓延を通してどのように日本が評価されているかを分析。

COVID-19 Regional Safety Assessment



- 新型コロナ感染拡大による世界的な健康と経済危機に対する**経済的、社会的、健康的安定性のスコア**を付け、Tier1(20)、Tier2(20)、Tier3(60)、Tier(100)の4つの層に分類し、**日本はTier1に相当**
- トップ20では、地域的には欧州、アジア・太平洋、中東が占めており、アメリカ大陸からは20位以内にカナダのみランクイン

3. 諸外国からの日本の印象分析

①日本の印象調査 ～調査対象レポート①(3/3)

調査① 影響調査

調査② 印象調査

以下のような各種機関から発行されている調査レポートをもとに、新型コロナ蔓延を通してどのように日本が評価されているかを分析。

COVID-19 Regional Safety Assessment

COVID-19 Ranking of 200 Countries and Regions

Rank	Region	Score	Rank	Region	Score	Rank	Region	Score	Rank	Region	Score
1	Switzerland	752	26	Qatar	575	51	Uruguay	536	76	Mongolia	499
2	Germany	749	27	Liechtenstein	572	52	Vatican City	535	77	Lebanon	499
3	Israel	748	28	Poland	570	53	Italy	533	78	Belgium	498
4	Singapore	744	29	Lithuania	566	54	Serbia	532	79	Andorra	498
5	Japan	738	30	Malaysia	565	55	Philippines	532	80	Cayman Islands	491
6	Austria	726	31	Latvia	564	56	India	532	81	Armenia	484
7	China	717	32	Slovenia	564	57	Romania	531	82	Moldova	483
8	Australia	716	33	Oman	562	58	USA	530	83	Myanmar	482
9	New Zealand	715	34	Greece	560	59	Slovak Republic	530	84	Bangladesh	482
10	South Korea	712	35	Estonia	556	60	France	529	85	Sri Lanka	482
11	United Arab Emirates	700	36	Croatia	556	61	Russia	525	86	Egypt	480
12	Canada	699	37	Turkey	556	62	Argentina	524	87	Tunisia	478
13	Hong Kong	698	38	Ireland	551	63	Belarus	523	88	Albania	476
14	Norway	685	39	Georgia	550	64	Monaco	523	89	Jordan	475
15	Denmark	671	40	Cyprus	550	65	Sweden	522	90	Panama	471
16	Taiwan	667	41	Chile	549	66	Ukraine	520	91	Brazil	470
17	Saudi Arabia	657	42	Montenegro	548	67	Gibraltar	518	92	Morocco	465
18	Hungary	656	43	Czech Republic	545	68	United Kingdom	513	93	Algeria	461
19	Netherlands	651	44	Malta	544	69	South Africa	512	94	Honduras	457
20	Vietnam	637	45	Spain	543	70	San Marino	509	95	Paraguay	455
21	Kuwait	633	46	Portugal	542	71	Kazakhstan	508	96	Peru	453
22	Iceland	600	47	Thailand	541	72	Bosnia and Herzegovina	508	97	Indonesia	450
23	Bahrain	592	48	Bulgaria	541	73	Iran	505	98	Cambodia	448
24	Finland	584	49	Greenland	538	74	Ecuador	505	99	Laos	442
25	Luxembourg	576	50	Mexico	537	75	Azerbaijan	499	100	Bahamas	440

日本は第5位にランクイン
アジア地域に限定した場合、
シンガポールに次ぐ第2位

- 東アジアと太平洋の国々はその他のエリアと比較してランクが高く、緊急事態やリソース需要に対する政府の備えが高評価の要因とされる
- アメリカ大陸の国とアフリカ大陸の国はランクが低く、特に南米とサハラ以南のアフリカではスコアが低い国が多い

3. 諸外国からの日本の印象分析

①日本の印象調査 ～調査対象レポート②(1/4)

調査① 影響調査

調査② 印象調査

以下のような各種機関から発行されている調査レポートをもとに、新型コロナ蔓延を通してどのように日本が評価されているかを分析。

DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査

調査概要

- '20年8月に日本政策投資銀行と日本交通公社の共同によるWeb調査レポート
- '12年より継続的にアジア・欧米豪12地域(欧米豪は'16年より調査対象に追加)の海外旅行嗜好や訪日経験の有無によるニーズ変化の把握を目的とする
 - ・実施時期：'20年6月2日～6月12日
 - ・調査地域：韓国、中国、台湾、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランス
 - ・調査対象者：20歳～59歳の男女かつ海外旅行経験者

日本への評価・言及

- 新型コロナ終息後に観光旅行したい国・地域：1位(アジア居住者：1位、欧米豪居住者：2位)
- 日本を訪問したい理由は、1位：行きたい観光地や観光施設があるから、2位：食事が美味しいから、3位：以前も旅行したことがあり、気に入ったから、4位：清潔だから(※特に欧米豪居住者からは清潔さを評価する割合が高い)
- 訪日旅行全般への期待事項としては、観光地やレストラン、宿泊施設などでの多言語による案内が挙げられている
- 新型コロナ終息後における海外旅行の意向は全体的に高く、アジアを中心に「リラックスや癒やし」、「体験」などを求める回答が多い

3. 諸外国からの日本の印象分析

①日本の印象調査 ～調査対象レポート②(2/4)

調査① 影響調査

調査② 印象調査

以下のような各種機関から発行されている調査レポートをもとに、新型コロナ蔓延を通してどのように日本が評価されているかを分析。

DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査

次に海外観光旅行の検討を再開するタイミング

(3つまで選択、%)

順位	回答者→ サンプル数	全体	アジア全体										欧米豪全体				
		韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	オーストラリア	インドネシア	2,072	アメリカ	ヨーロッパ	イギリス	フランス			
		6,266	4,194	529	548	530	511	521	517	520	518	2,072	520	525	505	522	
1	抗ウイルス薬の開発など、新型コロナの脅威が消滅してから	32	36	34	42	38	26	39	33	35	37	24	24	22	26	24	
2	渡航希望先の安全宣言後（入国制限・入国後の行動制限措置の解除を伴う）	30	34	11	40	45	38	34	40	31	32	23	22	25	30	14	
3	WHOのパンデミック終息宣言後	28	33	28	33	21	25	36	31	40	50	19	18	17	21	19	
4	自国の出国制限措置の解除後	21	22	13	22	31	32	14	26	18	21	18	11	22	19	21	
5	航空路線が再開されてから	16	16	11	11	13	25	18	20	13	16	17	16	17	18	17	
6	海外旅行ツアーの再開後	12	13	12	12	21	22	11	8	7	8	10	9	9	10	12	
7	パンデミックにより減少した自身または家族の仕事・収入が回復してから	10	12	11	14	9	12	15	9	10	14	8	10	7	7	8	
8	メディアによって海外旅行の再開が報道されるようになってから	10	10	16	13	6	8	12	10	7	11	9	9	7	8	13	
9	知人や周囲の人が海外旅行に行き始めたタイミング	8	8	8	14	6	9	9	7	5	4	7	10	6	4	9	
10	SNSで海外旅行に関する投稿を見るようになってから	6	6	5	10	3	4	10	6	5	4	7	9	5	6	8	
11	クルーズ船の就航が再開されてから	4	3	2	4	2	3	4	5	3	3	7	9	6	6	5	

- 次に海外旅行の検討を再開するタイミングとしては、「抗ウイルス薬の開発など、新型コロナの脅威が消滅してから」、「渡航希望先の安全宣言後」、「WHOのパンデミック終息宣言後」等、オフィシャルなコロナ終息宣言の発表後という回答が多い

3. 諸外国からの日本の印象分析

①日本の印象調査 ～調査対象レポート②(3/4)

調査① 影響調査

調査② 印象調査

以下のような各種機関から発行されている調査レポートをもとに、新型コロナ蔓延を通してどのように日本が評価されているかを分析。

DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査

新型コロナ終息後に観光旅行したい国・地域 (回答はあてはまるもの全て、%)

順位	回答者→	全体	アジア全体										欧米豪全体				
			韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス			
サンプル数		5,662	3,822	466	515	489	470	470	468	466	478	1,840	456	462	453	469	
1	日本	46	56	24	65	75	76	69	50	45	44	24	21	25	24	23	
2	韓国	22	30	-	25	30	29	34	29	32	28	8	11	6	7	7	
3	台湾	17	23	18	13	-	47	12	32	33	5	7	10	5	5	7	
4	オーストラリア	16	16	18	14	16	16	7	22	20	17	17	17	-	21	12	
5	タイ	16	19	14	15	13	27	-	27	-	16	12	10	13	15	11	
6	シンガポール	15	17	14	17	12	11	16	-	-	33	12	9	18	13	7	
7	ニュージーランド	15	15	15	15	18	11	9	21	17	11	14	13	-	21	9	
8	アメリカ	14	9	18	10	13	7	6	10	3	6	28	-	21	39	25	
9	スイス	12	12	21	10	14	10	9	15	11	8	12	11	13	-	-	
10	イギリス	12	10	12	8	11	12	9	12	9	9	19	20	18	-	-	
11	カナダ	11	8	17	8	11	8	3	6	4	3	20	-	17	23	20	
12	フランス	11	9	13	13	10	8	7	11	7	7	17	18	15	-	-	
13	中国本土	11	14	10	-	12	-	20	14	22	5	6	9	5	6	6	
14	香港	11	11	14	-	8	-	14	12	11	9	9	11	8	11	7	
15	マレーシア	10	11	7	10	9	10	-	-	-	19	8	7	11	10	6	
16	ハワイ	9	9	24	16	11	6	3	4	5	2	11	-	15	13	6	
17	イタリア	9	8	11	9	10	7	4	9	6	6	16	18	14	-	-	
18	ドイツ	9	8	12	8	10	7	4	10	6	6	14	16	13	-	-	
19	ベトナム	9	9	20	3	9	5	8	10	14	2	9	8	12	9	6	
20	その他欧州諸国	8	6	11	3	9	8	2	10	5	4	13	13	13	-	-	

日本は第1位にランクイン
アジア地域の旅行者からは1位、
欧米豪でも第2位の高ランク

- 新型コロナ終息後に観光旅行したい国・地域として、日本はアジアでトップ、欧米豪でも2位の人気であり、新型コロナ感染拡大前から変わらず日本人気は高い

3. 諸外国からの日本の印象分析

①日本の印象調査 ～調査対象レポート②(4/4)

調査① 影響調査

調査② 印象調査

以下のような各種機関から発行されている調査レポートをもとに、新型コロナ蔓延を通してどのように日本が評価されているかを分析。

DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査

訪日旅行全般に期待したいこと（アジア）		(3つまで選択、%)																																
回答者→	訪日経験→	全体			アジア全体			韓国			中国			台湾			香港			タイ			シンガポール			マレーシア			インドネシア					
		未経験	1回	2回以上	未経験	1回	2回以上	未経験	1回	2回以上	未経験	1回	2回以上	未経験	1回	2回以上	未経験	1回	2回以上	未経験	1回	2回以上	未経験	1回	2回以上	未経験	1回	2回以上	未経験	1回	2回以上			
サンプル数		830	501	1,253	581	422	1,148	17	18	78	52	91	191	48	60	260	41	28	290	93	75	155	84	55	96	129	46	36	117	49	42			
観光地やレストラン、宿泊施設などでの英語・多言語による案内、表示のブラッシュアップ		22	23	20	23	24	21	35	39	13	21	23	20	15	18	19	24	25	19	18	23	28	19	20	23	26	26	19	27	33	26			
通信環境の改善（インターネット、Wi-Fi等）		9	11	12	10	10	12	12	0	19	15	14	13	8	12	8	7	14	10	9	8	14	10	7	14	12	4	11	10	14	10			
低価格		24	20	14	25	19	14	29	33	15	2	2	3	6	10	7	10	21	15	17	13	14	43	55	38	31	22	39	35	24	21			
高価格でも、価格に見合ったサービスや施設の充実		10	10	10	9	10	9	12	11	12	15	11	8	4	3	10	17	4	9	10	11	10	4	11	6	6	4	6	14	24	10			
観光地や観光施設へのアクセス改善		21	19	21	21	21	22	24	50	31	17	21	23	25	20	19	15	14	21	20	19	23	29	24	20	22	15	19	18	18	24			
自然体験アクティビティ（スキーやサイクリング、フィッシング等）の種類や質の充実、ブラッシュアップ		17	20	20	16	21	21	12	6	5	33	43	36	27	18	22	10	18	19	15	21	18	18	16	18	10	15	11	11	4	12			
文化体験アクティビティの種類や質の充実、ブラッシュアップ		27	21	24	25	21	25	24	22	27	37	21	25	44	37	34	34	7	21	19	15	22	21	15	22	26	33	14	17	18	12			
高級宿泊施設の拡充		7	6	8	5	6	8	12	0	9	4	10	8	2	3	8	5	7	7	6	5	6	7	5	13	4	4	11	3	6	12			
リーズナブルな宿泊施設の拡充		25	28	26	28	29	26	6	17	19	17	12	13	25	37	34	22	46	34	33	35	19	35	29	31	29	46	14	30	22	29			
高価格でも、価格に見合った日本食レストランの充実		12	11	12	12	10	10	12	17	10	23	10	15	15	10	7	15	14	10	6	8	8	17	7	8	9	7	28	9	12	10			
リーズナブルな日本食レストランの充実		25	29	32	28	29	33	29	50	24	29	27	26	33	47	43	61	43	44	26	20	16	21	27	22	37	22	42	12	16	19			
衛生面における配慮、清潔さ、消毒などのウイルス対策全般の継続		33	38	37	36	41	38	18	17	33	31	38	38	42	38	46	41	39	32	48	56	42	24	31	28	33	43	31	39	41	45			
混雑を回避するための事前予約や入場制限などの措置		21	21	20	22	22	20	18	6	18	21	22	22	17	15	15	12	14	16	29	28	27	15	20	26	26	24	28	24	29	24			
新型コロナに関する英語・多言語での情報公開		14	12	10	15	12	10	0	0	9	12	13	7	8	7	3	5	7	4	22	12	29	12	7	14	14	13	6	24	27	29			
その他		0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	2			

- 新型コロナ終息後の訪日旅行全般に期待したいこととしては「衛生面における配慮、清潔さ、消毒などのウイルス対策全般の継続」がアジア・欧米豪ともにトップであり特にアジアからのウイルス対策全般に関する期待は高い
- 1回以上訪日経験のある方は、特に「観光地やレストラン、宿泊施設などでの英語・多言語による案内、表示のブラッシュアップ」を期待している

3. 諸外国からの日本の印象分析

①日本の印象調査 ～調査対象レポート③(1/3)

調査① 影響調査

調査② 印象調査

以下のような各種機関から発行されている調査レポートをもとに、新型コロナ蔓延を通してどのように日本が評価されているかを分析。

新型コロナウイルス感染症に関する旅行者調査

調査概要

- '20年7月21日にTripadvisorによって発表された調査レポート
- Tripadvisor Japanが6つの指定市場で、旅行者の傾向調査を実施したもので、同年5月に続き2度目の発表となった
 - ・実施時期：'20年4月22日～28日、'20年5月29日～6月2日、'20年6月10日～15日、'20年6月24～30日
 - ・調査地域：日本、米国、イギリス、イタリア、オーストラリア、シンガポール
 - ・調査対象者：過去12ヶ月に1回以上旅行を経験した人、かつ旅行の意思決定者（各国約400人）

日本への評価・言及

- オーストラリア・シンガポールの旅行者が新型コロナ終息後に訪れたい国：1位
 - 5月発表の調査レポートとの比較では、世界的に新型コロナへの懸念は「非常に心配している」から「とても心配している」「心配している」に変化したことから、新型コロナの感染リスクを踏まえたニューノーマルへの順応が伺える
- (参考)旅行先を決める上で今後重要になることとしては、日本以外の調査国において以下の評価が高い
- ・最新施設のある病院へ安全かつ容易にアクセスできること
 - ・非接触型決済が広く普及していること

3. 諸外国からの日本の印象分析

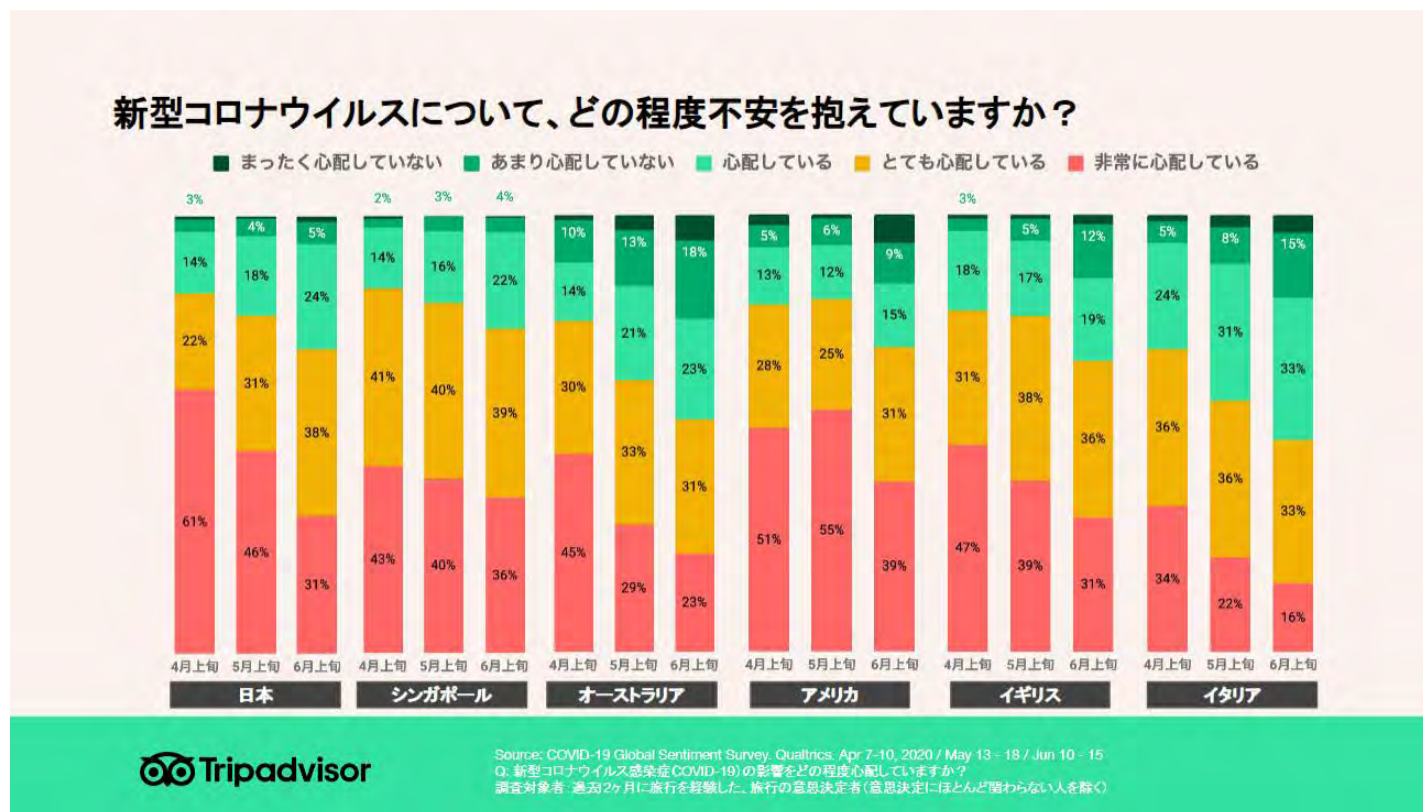
①日本の印象調査 ～調査対象レポート③(2/3)

調査① 影響調査

調査② 印象調査

以下のような各種機関から発行されている調査レポートをもとに、新型コロナ蔓延を通してどのように日本が評価されているかを分析。

新型コロナウイルス感染症に関する旅行者調査



- 4月上旬、5月上旬、6月上旬の時期を追っての比較では、世界的に新型コロナへの懸念は「非常に心配している」から「とても心配している」「心配している」に変化したことから、新型コロナの感染リスクを踏まえたニューノーマルへの順応が伺える

3. 諸外国からの日本の印象分析

①日本の印象調査 ～調査対象レポート③(3/3)

調査① 影響調査

調査② 印象調査

以下のような各種機関から発行されている調査レポートをもとに、新型コロナ蔓延を通してどのように日本が評価されているかを分析。

新型コロナウイルス感染症に関する旅行者調査

(6か国比較)

旅行先を決める上で今後重要になることは？

	日本	アメリカ	イギリス	シンガポール	オーストラリア	イタリア
旅行中に人混みを避けることができる/避けられる場所があること	49%	52%	53%	64%	61%	44%
新型コロナウイルス感染者数(陽性者数または死者数)の低下	42%	35%	34%	45%	38%	26%
地域で個人の衛生管理および公衆衛生に大規模に取り組んでいること	40%	48%	47%	62%	51%	51%
夜間外出自粛、ソーシャルディスタンス、マスク着用などの政府の規制が行われていること	37%	17%	22%	23%	17%	14%
十分な対人距離をとる文化があること	30%	14%	17%	23%	15%	23%
公共交通機関の利用時間が短いこと	28%	17%	18%	24%	21%	9%
最新設備のある病院へ安全かつ容易にアクセスできること	20%	54%	52%	51%	50%	56%
非接触型決済が広く普及していること	13%	42%	51%	66%	47%	39%
短距離フライトで行けること	12%	30%	34%	37%	34%	18%
飛行機の欠航が少ないこと	8%	32%	38%	42%	33%	21%



Source: COVID-19 Global Sentiment Survey - Wave VI, Qualtrics, Jun 10-15, 2020
Q: 旅行の目的地を選ぶ際は、次のうちどれが重要ですか？(当てはまるものをすべてお選びください)
調査対象者: 過去2ヶ月に旅行を経験した、旅行の意思決定者(意思決定にほとんど関わらない人を除く)

- 旅行先を決める上で今後重要になることとしては、「**非接触型決済が広く普及していること**」が日本以外の5カ国では重要視されている。また、「**最新設備のある病院へ安全かつ容易にアクセスできること**」「**地域で個人の衛生管理及び公衆衛生に大規模に取り組んでいること**」等、**旅行地での安全性の確保も期待**されていることが伺える

3. 諸外国からの日本の印象分析

①日本の印象調査 ～調査対象レポート④(1/3)

調査① 影響調査

調査② 印象調査

以下のような各種機関から発行されている調査レポートをもとに、新型コロナ蔓延を通してどのように日本が評価されているかを分析。

Covid Resilience Ranking / Covid耐性ランキング

調査概要

- '20年11月24日にBloombergにより発表された新型コロナへの耐性度合い、住みやすさを示したランキング（その後、定期的にアップデートを実施）
- 経済規模2000億ドル(約20兆9100億円)を超える53の国・地域を10の主要指標に基づいて点数化した調査を実施
 - ・実施時期：'21年2月
 - ・指標：10万人当たりの陽性数 / 陽性率 / 1ヶ月の死亡率 / 100万人当たりの死者数 / ロックダウンの重大度 / 国民皆保険の適用範囲 / GDP成長予測値 / ワクチンへのアクセス / 人間開発指数(国連データ) / 移動の自由度

日本への評価・言及

- 日本は**総合ランク9位**。日本はロックダウンを強制する法的手段はないが、別の強みを素早く発揮したと評されており、**過去に結核が流行した日本が維持している保健所制度・追跡調査や、高いレベルのコンプライアンス意識を背景に国民は積極的にマスクを着用し、人混みを避けた点**が寄与したと評されている
- メルボルン大学の世界疾病負担グループディレクターのアラン・ロペス名誉教授は**社会的結束もこのパンデミックへの対応の成否を分ける要素**であると述べており、「**日本や北欧の社会を見ると、不平等がほとんどなく、非常に規律が行き届いていることが分かる**」「これが国としてより結束した対応につながり、優れたコロナ対応ができた理由だ」と分析した

3. 諸外国からの日本の印象分析

①日本の印象調査 ～調査対象レポート④(2/3)

調査① 影響調査

調査② 印象調査

以下のような各種機関から発行されている調査レポートをもとに、新型コロナ蔓延を通してどのように日本が評価されているかを分析。

Covid Resilience Ranking / Covid耐性ランキング

RANK	CHANGE	ECONOMY	BLOOMBERG RESILIENCE SCORE	1-MONTH CASES PER 100,000	1-MONTH FATALITY RATE	TOTAL DEATHS PER 1 MILLION	POSITIVE TEST RATE	ACCESS TO COVID VACCINES	DOSES GIVEN PER 100
1	—	New Zealand	77.2	2	1.3%	5	0%	247%	0
2	▲1	Australia	72.6	1	0%	36	0%	250%	0.01
3	▼1	Singapore	71.3	10	0%	5	0%	85%	4.49
4	▲3	Finland	67.6	216	0.8%	132	3.7%	231%	6.57
5	▲1	Norway	66.9	149	0.8%	112	1.7%	231%	7.33
6	▼1	China	66.2	0	0.1%	3	0.1%	84%	2.89
7	▼3	Taiwan	65.4	0	3.8%	0	0.1%	37%	0
8	▲4	South Korea	65.3	25	1.7%	31	1.3%	135%	0
9	▼1	Japan	64.1	48	4.1%	60	2.6%	129%	0.01
10	▲4	Thailand	62.3	17	0.1%	1	1.5%	45%	0
11	▲6	Denmark	61.5	240	2.6%	405	0.4%	231%	8.8
12	▲1	Canada	61.4	279	2.8%	577	7.3%	335%	4.23
13	▼4	Hong Kong	61.1	11	3.5%	26	0.1%	155%	0
14	▲1	Israel	59.6	1,874	0.7%	651	6.5%	138%	84.78
15	▼4	U.A.E.	58.8	987	0.4%	116	1.7%	31%	52.73
16	▲2	India	58.7	26	0.9%	113	1.6%	85%	0.87
17	▲4	Saudi Arabia	57.5	27	1.3%	186	0.7%	5%	1.59
18	▼8	Vietnam	57.3	1	0%	0	0.1%	21%	0
19	—	France	56.7	885	2.1%	1,305	6.3%	231%	5.92
20	▲11	Greece	55.7	296	2.3%	609	3.2%	231%	7.11

日本は第9位にランクイン
本調査内では、日本は
深刻なロックダウンを行わず、
人々の自主的な行動により
感染抑制を実現した点
に言及されている

- Top10のうち8つは民主的な国・地域であり、悪影響を最小限に抑えて新型コロナを封じ込めることに成功している国々は市民に命令し服従させる力によってではなく、高い信頼と社会のコンプライアンスを引き出すことによって新型コロナ封じ込めを可能にしていると評されている

3. 諸外国からの日本の印象分析

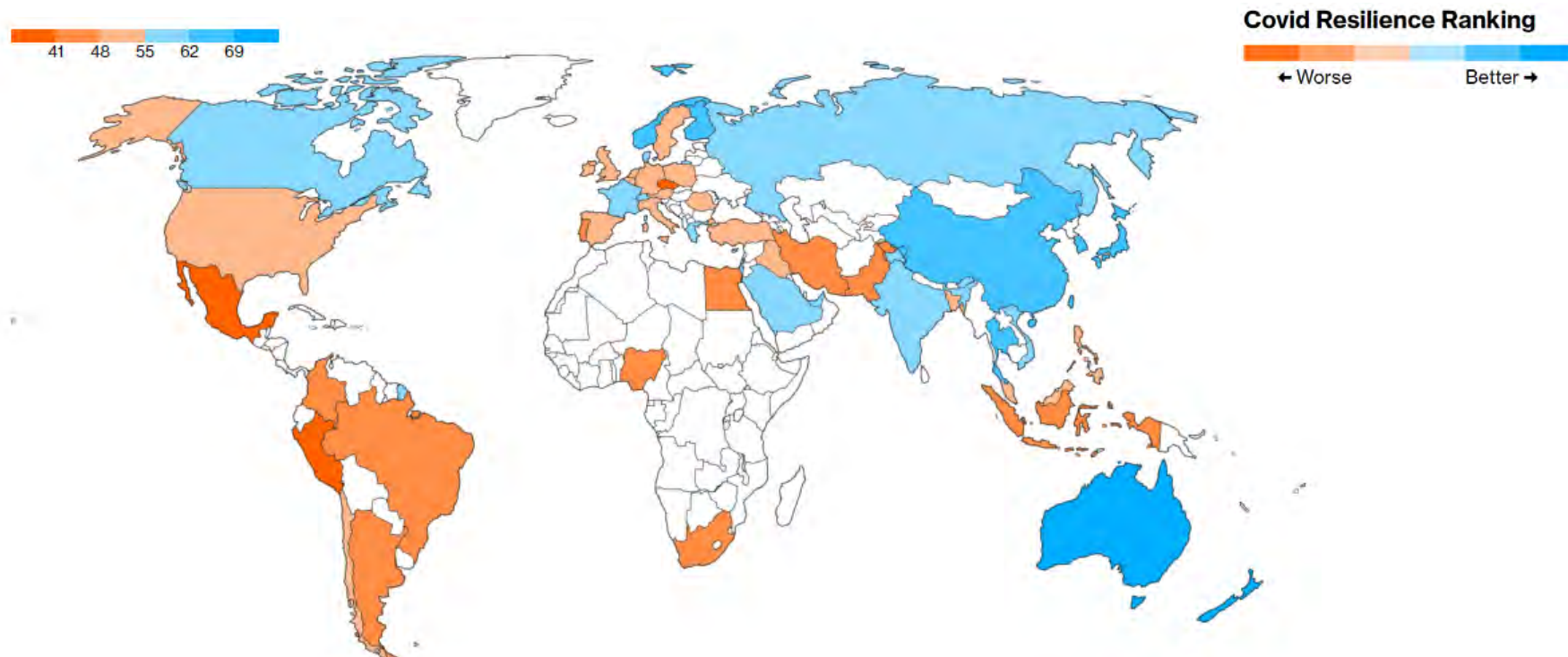
①日本の印象調査 ～調査対象レポート④(3/3)

調査① 影響調査

調査② 印象調査

以下のような各種機関から発行されている調査レポートをもとに、新型コロナ蔓延を通してどのように日本が評価されているかを分析。

Covid Resilience Ranking / Covid耐性ランキング



- 相対的にアジア大西洋エリアは高いランク、西欧・ラテンアメリカは低いランク付け
- 東アジアや東南アジア諸国においては、**03年の重症急性呼吸器症候群(SARS)感染拡大での経験が役立った点**、パキスタンやバングラデシュのような発展途上国は、**地理的に比較的離れており且つ若年層の人口割合が平均よりも高い点**が全体的な死亡率の抑制に役立った可能性が指摘されている

3. 諸外国からの日本の印象分析

①日本の印象調査 ～調査対象レポート⑤(1/1)

調査① 影響調査

調査② 印象調査

以下のような各種機関から発行されている調査レポートをもとに、新型コロナ蔓延を通してどのように日本が評価されているかを分析。

The Academic Response to COVID-19

調査概要

- '20年10月にスイスの出版社Frontiers社が発表した、**新型コロナによってどのような影響が生じたか**を152か国の2万5000人の科学者に対してアンケート調査を実施したレポート
- 研究者自体の働き方の変化のほか、各国の政府の新型コロナ対策が、どの程度科学的根拠に基づいているかも調査を実施

日本への評価・言及

- 各国の政府の新型コロナ対策がどの程度科学的根拠に基づくかという調査において、**日本は24カ国中17位、アジア5カ国中最低ランクであり、日本に対しては約40%が「科学的」、25%が「非科学的」と回答**
- 最も科学的と評価された国はニュージーランド、次いで中国であり、それ75%、70%以上が「科学的」と回答している。一方、最も「非科学的」なのはアメリカ、次いでブラジル、イギリスと続き、いずれも25%未満である